

令和4年度以降の本県における奨学金制度について

1 趣旨

令和2年8月31日に開催された国の医師需給分科会において、地域枠の定義・従事要件等についての見直しを行うことが示されたことから、今後の本県奨学金制度の対応の方向性について検討状況をお示しするもの。

2 国の見直し案

(1) 地域枠の定義について

従事要件を課す枠を「地域枠」と定義（下記）し、令和4年度から運用することとする。

対象	地元出身者もしくは全国より選抜
選抜方法	別枠方式
協議の場・協議事項	地域医療対策協議会において設定。地域枠の設定数、従事要件・キャリア形成プログラムの内容、地域定着策、離脱要件等を協議
同意取得方法	志願時に県と本人と保護者等が従事要件・離脱要件に書面同意する
従事要件	①卒直後より当該都道府県内で9年以上従事すること ②将来のキャリアアップに関する意識の向上に資する都道府県のキャリア形成プログラムに参加すること

(2) キャリア形成プログラムについて

プログラムの内容	原則9年間であり、臨床研修後、県内の医師少数区域等病院で4年以上勤務すること。
プログラムの適用	キャリア形成プログラムは都道府県と対象者との契約であり、対象者は満了するよう真摯に努力しなければならない。
プログラムの満了	都道府県は、キャリア形成プログラムを満了することを、修学資金の返還免除要件とする。

3 岩手県における医師奨学金枠（案）について

- ・ 返還免除期間に臨床研修を含めることについて見直しを検討。
- ・ 返還免除期間とキャリア形成プログラム期間を一致させるよう見直しを検討。

区分	地域枠			地域枠以外	
	岩手医科大学地域枠		東北大地域枠	医療局一般枠	市町村
入試枠	A	B・C			
選抜方法	別枠方式	別枠方式	別枠方式	手挙げ方式	手挙げ方式
定員	15名	13名	2名	10名（うち産婦人科特別枠2名）	15名
金額	440万円/年 一時金410万円	30万円/月	20万円/月	国立20万円/月 私立30万円/月	20万円/月
返還免除 （義務年限）	9→11年 （臨床研修含む）	6→9年 （臨床研修含む）	6→9年 （臨床研修含む）	6→9年 （臨床研修含む）	6年 （臨床研修含まず）

4 キャリア形成プログラムの見直し（案）

（1）岩手医科大学地域枠A（岩手県医師修学資金）

ア 現行

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年
勤務要件	臨床研修		基幹		基幹+応援		中小		基幹又は中小		
返還免除	対象外		対象期間								

※ 通算して中小病院は2年、沿岸部等の病院で2年以上勤務する。

イ 令和4年度以降（案）

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年
勤務要件	臨床研修		基幹		基幹+応援		中小		基幹又は中小		
返還免除	対象期間										

※ 臨床研修は岩手県内の臨床研修病院で行う。

※ 通算して中小病院は2年、沿岸部等の病院で2年以上勤務する。

（2）岩手医科大学地域枠B・C及び東北大地域枠（医療局医師奨学資金）

ア 現行（岩手医科大学地域枠B・C、東北大地域枠）

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
勤務要件	臨床研修		大学	基幹		中小		基幹又は中小		
返還免除	対象外		猶予	対象期間						

※ 通算して中小病院は2年、沿岸部等の病院で2年以上勤務する。

※ 東北大地域枠は大学（猶予）を卒後5年目と設定。

イ 令和4年度以降（案）

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
勤務要件	臨床研修		基幹		基幹	中小		基幹又は中小		
返還免除	対象期間									

※ 臨床研修は岩手県内の臨床研修病院で行う。

※ 通算して中小病院は2年、沿岸部等の病院で2年以上勤務する。

（3）一般枠（医療局医師奨学資金）

一般枠については、地域枠B・C及び東北大地域枠と同じ条例に基づくものであり、貸付金額も同額であることから、返還免除期間を9年とし、同様の運用とする。

（4）市町村医師養成修学資金

令和6年度以降の次期医師確保計画策定に合わせて見直しを検討する。（国の地域枠には該当せず、見直しの対象ではないことから、医師確保計画の最終年度である令和5年度まで現行制度での運用を継続するもの。）

(R4 入学者以降 案)

岩手県キャリア形成プログラム (岩手県医師修学資金)

令和3年2月時点

※今後、内容が変更となる可能性があります

1 キャリア形成プログラム（岩手県医師修学資金）とは

将来地域医療に従事する意思を持ち、岩手医科大学医学部の地域枠入試制度により岩手医科大学医学部に入学し、岩手県から岩手県医師修学資金の貸与を受けた医師は、岩手県が策定したキャリア形成プログラム（医師が不足している地域における医師の確保に資するとともに、当該地域に派遣される医師の能力の開発及び向上を図ることを目的とした計画）の適用を受けることとなります（医療法規定）。

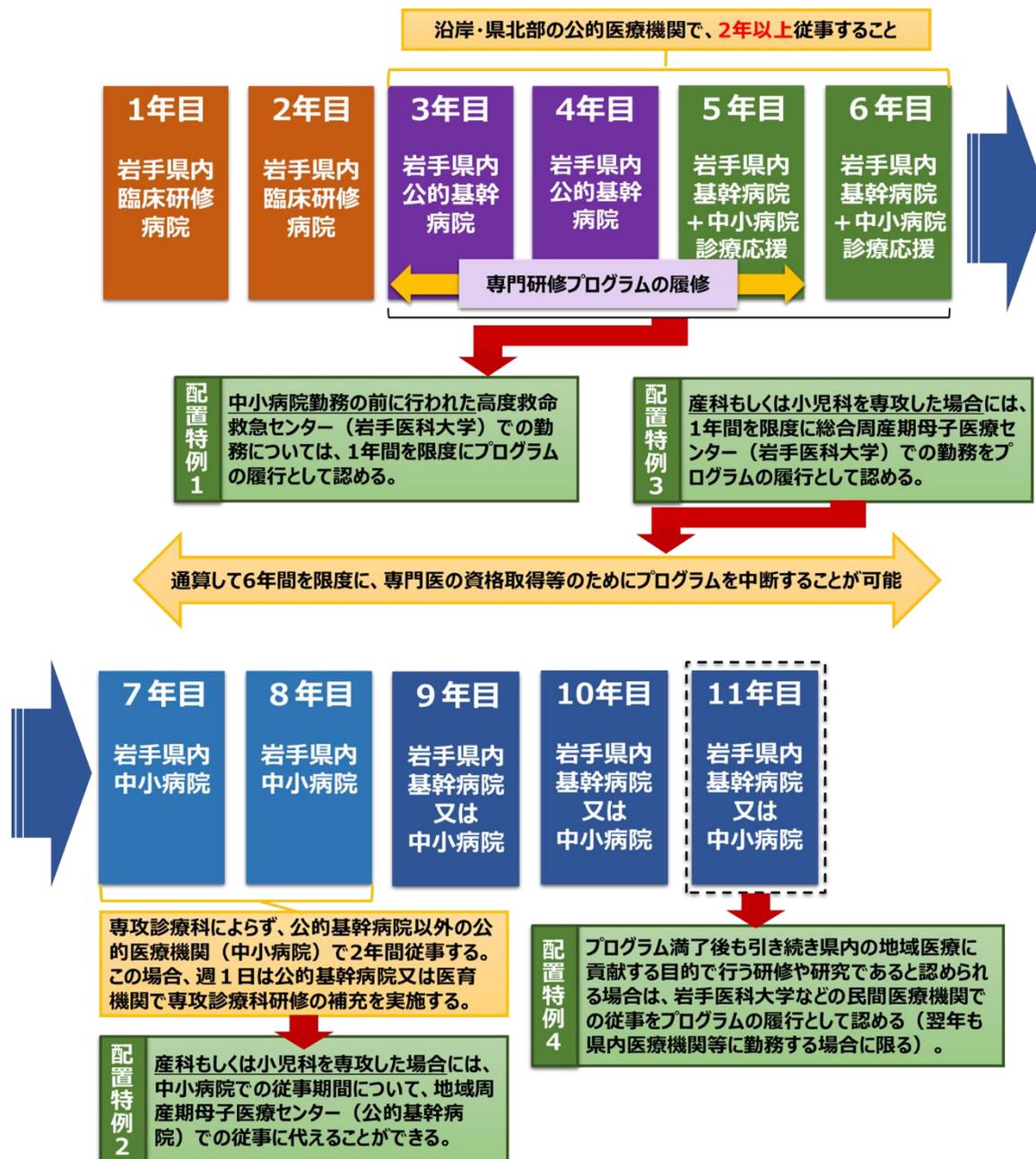
2 キャリア形成プログラムの詳細

(1) プログラム対象者	岩手医科大学学校推薦型選抜地域枠A（岩手県出身者枠）により同大学に入学し、岩手県から岩手県医師修学資金の貸与を受けて医師となった者
(2) プログラム期間	11年間
(3) 臨床研修	○ 原則として、県内の臨床研修病院で研修を行う。 ○ やむを得ない理由により、県外で臨床研修を行った場合は、その期間をプログラムの一時中断期間が可能な期間（通算して6年間）から控除する ※ 2-(6) 参照
(4) 診療科の制限	○ 診療科の専攻に関する制限はなし 【参考】19基本領域 内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、臨床検査、救急科、形成外科、リハビリテーション科、総合診療
(5) 勤務要件 (臨床研修後)	【配置基本ルール】 ① 臨床研修後に公的基幹病院での従事（2年間） ○ プログラム対象者の専攻診療科を考慮して、当該診療科に関する指導医が在籍する公的基幹病院に配置する。 ○ 専攻診療科の研修のほか、プライマリーケアの総合診療スキルの習得研修（研修プログラムについては公的基幹病院で別途作成）もあわせて行う。 ② 公的基幹病院を主たる従事先として、公的基幹病院以外のプログラム対象施設への応援診療の実施（2年間） ・ 公的基幹病院に勤務しながら原則週1～2日（応援先施設のニーズにより一定期間とすることも認める。）の公的基幹病院以外のプログラム対象施設への応援診療を基本とする。 ・ ①を経ずに②を実施することも認める。 ・ ①において県央・県南地域の医療機関（県立中央病院、県立中部病院、県立胆沢病院、県立磐井病院、盛岡市立病院、盛岡赤十字病院、北上済生会病院）に配置した養成医師は、原則として沿岸・県北地域の医療機関に配置する。

<p>(5) 勤務要件 (臨床研修後) のつづき</p>	<p>③ 公的基幹病院以外のプログラム対象施設（その他公的医療機関）での従事（2年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム対象者の専攻診療科によらず、原則公的基幹病院以外のプログラム対象施設に配置する。 ・ 週1日は、公的基幹病院又は医育機関で専攻診療科研修の補充を行うことも認める。 <p>④ 養成医師のプログラム満了後の医師としての方向性を考慮したプログラム対象施設での従事（3年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム満了後の県内勤務を見据え、プログラム対象者の専攻診療科を考慮して配置する。 <p>【配置基本ルールの運用】</p> <p>○ 上記に示した配置基本ルールについて、①の初期臨床研修後に公的基幹病院での従事（2年間）については、原則として、最初に実施するものとし、②から④については、県内の医師不足の状況やプログラム対象者の個々の事情に応じて順番を適宜変更する場合がある。</p> <p>また、各医療機関でのプログラム履行は1か月単位で認定する。</p> <p>○ ①もしくは②における沿岸・県北部での従事義務（2年間）と③の従事義務を同時に履行することはできない。</p> <p>【例】沿岸部におけるその他公的医療機関での勤務は、③の履行として扱われる。</p> <p>○ ③の公的基幹病院以外でのプログラム対象施設での勤務より前に行われた岩手県高度救命救急センター（岩手医科大学）での勤務については、1年間を限度にプログラムの履行期間として認める。【配置特例1】</p> <p>○ プログラム対象者が、産科もしくは小児科を専攻した場合は、②及び③について、地域周産期母子医療センター（公的基幹病院）での従事に代えることができる。【配置特例2】</p> <p>○ プログラム対象者が、産科もしくは小児科を専攻した場合は、1年間を限度に総合周産期母子医療センター（岩手医科大学）での勤務をプログラムの履行として認める。【配置特例3】</p> <p>○ ④の最後の1年間について、プログラム対象者が、プログラム満了後も引き続き県内の地域医療に貢献する目的で行う研修や研究であると認められる場合は、岩手医科大学附属病院などの民間医療機関での従事をプログラムの履行として認める（翌年も県内医療機関等に勤務する場合に限る）。【配置特例4】</p>
<p>(6) プログラムの 一時中断</p>	<p>○ プログラム対象者は、専門的な医学又は医療における必要な知識及び技術を習得するため、プログラムの期間内にプログラム対象施設以外で研修を受けることができるが、この期間は通算して6年間を限度とし、キャリア形成プログラムの一時中断期間として取り扱うものとする。※【配置特例1、3、4を除く。】</p> <p>○ 育児休業や休職等については、プログラムの一時中断期間として取り扱うものとする。</p> <p>ただし、産前産後休暇と病気休暇はプログラム期間に含む。</p>

(7) プログラム期間中の身分	○ プログラム対象者のプログラム履行期間の身分については、配置先の医療機関の雇用による当該医療機関の職員とする。
(8) プログラムの適用解除	○ 対象者から申出があり、国への協議の結果、特別の事情があつて例外的にこれに応じることが適当と認められるとき、その他必要と認めるときは、キャリア形成プログラムの適用を途中で解除する。 ○ プログラムの適用が解除された場合、年率9%の利息を付して奨学金を返還することとなるもの。

3 キャリア形成プログラムの履行例



【凡例】※白抜きは県北・沿岸部に所在する医療機関
 ・公的基幹病院：◆◇県立病院 ★その他の病院
 ・その他医療機関：■□県立病院 ●○その他の病院
 ▲△診療所
 ・「C」：地域診療センター

岩手県キャリア形成プログラム

(地域枠 A 岩手県医師修学資金)

研修・勤務先 ※1	備考	プログラム履行先
① 臨床研修 (2年)	○ 臨床研修後の勤務との連動を図るため、県内研修病院で実施	<p><①臨床研修病院：12病院></p> <p>◆中央病院 ◆中部病院 ◆胆沢病院 ◆磐井病院 ★岩手医科大学附属病院 ★北上済生会病院 ★盛岡赤十字病院 ★盛岡市立病院 ◇大船渡病院 ◇宮古病院 ◇久慈病院 ◇二戸病院</p>
<p>↓</p> <p>専門研修・大学院等(通算6年可)※2 産科若しくは小児科を専攻した場合は、1年間を限度に総合周産期母子医療センター(岩手医大)での勤務を義務履行として認める。</p>		
② 公的基幹病院勤務 (2年)	<p>○ 養成医師の専攻診療科を考慮して、当該診療科に関する指導医が在籍する公的基幹病院に配置。</p> <p>○ 専攻診療科の研修のほか、診療所レベル等の勤務において必要なプライマリケアの総合診療的スキルの習得研修も実施。</p>	<p><②公的基幹病院：11病院></p> <p>岩手医科大学附属病院以外の臨床研修病院に同じ</p>
<p>↓</p> <p>専門研修・大学院等</p> <p>②③通算して2年間以上は、県北・沿岸部の医療機関で勤務すること</p>		
③ 公的基幹病院勤務 +その他医療機関への 応援診療(2年)	○ 公的基幹病院に勤務しながら、週1～2日をその他公的医療機関で勤務	<p>岩手県高度救命救急センター(岩手医科大学)での研修については、④の勤務前に行った場合のみ、1年間を限度にプログラム対象期間に含める。</p>
<p>↓</p> <p>専門研修・大学院等</p> <p>産科もしくは小児科を専攻した場合は、③④の間においても、地域周産期母子医療センター(公的基幹病院)での勤務が可能。</p>		
④ その他医療機関勤務 (2年)	<p>○ 専攻診療科によらず、原則公的基幹病院以外の医療機関に配置。</p> <p>○ その他医療機関で勤務を行ないながら週1日、公的基幹病院又は医育機関で専攻診療科研修の補充を実施。</p>	<p>●八幡平市立病院 ●葛巻病院 ●西和賀さわうち病院 ●総合水沢病院 ●まごころ病院 ●藤沢病院 ○済生会岩泉病院 ○種市病院 ▲安代 ▲田山 ▲雫石 ▲中央(遠野) ▲前沢 ▲衣川 ▲金ヶ崎 ▲猿沢 ▲室根 △綾里 △越喜来 △吉浜 △広田 △二又 △田老 △新里 △川井 △田野畑 △山形 △普代 △大野 △金田一 △浄法寺 △済生会陸前高田 ■遠野病院 ■東和病院 ■江刺病院 ■南光病院 ■大東病院 ■千厩病院 □釜石病院 □高田病院 □大槌病院 □山田病院 □一戸病院 □軽米病院 ■療育センター ■いわてリハビリテーションセンター ▲沼宮内C ▲紫波C ▲大迫C ▲花泉C △住田C △九戸C</p>
<p>↓</p> <p>専門研修・大学院等</p>		
⑤ 公的基幹病院又は、 その他医療機関勤務 (3年)	○ 義務終了後の県内勤務を見据え、養成医師の希望を踏まえ配置。	

※1 ②～⑤の勤務の順番の入れ替えは可能。また、各医療機関でのプログラム履行は1か月単位で認定。

※2 自身の医師としてのキャリア形成を図るため、大学等での研修を通算6年間認める。

(R4 入学者以降 案)

岩手県キャリア形成プログラム (岩手県医療局医師奨学資金)

令和3年2月時点

※今後、内容が変更となる可能性があるもの

1 キャリア形成プログラム(岩手県医療局医師奨学資金)とは

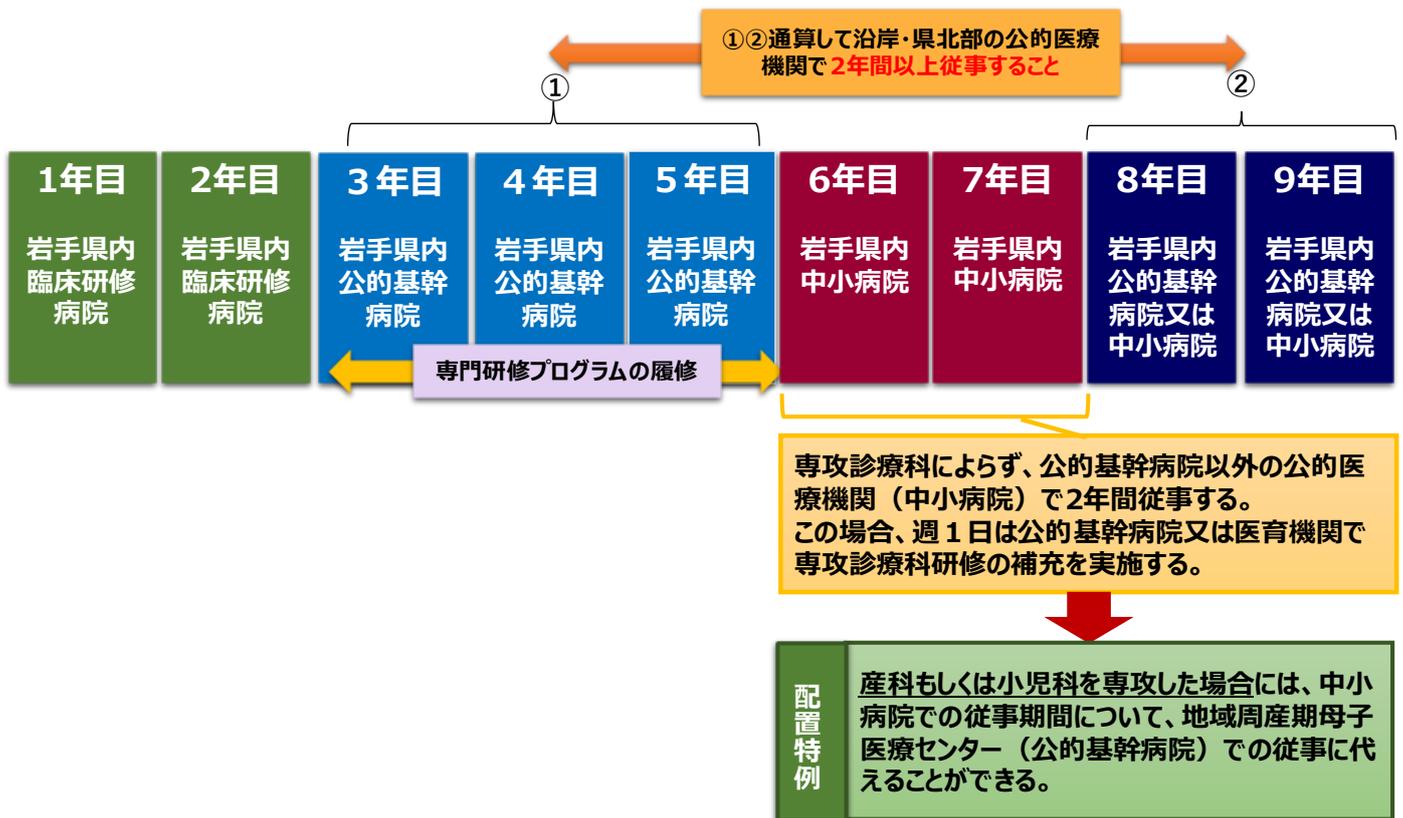
将来地域医療に従事する意思を持ち、地域枠入試制度により岩手医科大学医学部若しくは東北大学医学部に入学し、岩手県医療局から奨学資金の貸与を受けた医師は、岩手県医療局が策定したキャリア形成プログラム(医師が不足している地域における医師の確保に資するとともに、当該地域に派遣される医師の能力の開発及び向上を図ることを目的とした計画)の適用を受けることとなります(医療法規定)。

2 キャリア形成プログラムの概要

(1) プログラム対象者	次の地域枠入試制度により入学し、岩手県医療局から医療局医師奨学資金の貸与を受けて医師となった者 ①岩手医科大学学校推薦型選抜地域枠B(東北出身者枠)(以下、「地域枠B」という。) ②岩手医科大学一般選抜地域枠C(全国枠)(以下、「地域枠C」という。) ③東北大学医学部医学科岩手県地域枠入試(以下、「東北大地域枠」という。)
(2) プログラム期間	原則9年間(貸与期間の1.5倍に相当する期間)
(3) 診療科の制限	制限なし 【参考】19基本領域 内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、臨床検査、救急科、形成外科、リハビリテーション科、総合診療
(4) 勤務要件	① 臨床研修(2年間)は県内の臨床研修病院で行うこと。 ② 公的基幹病院で3年間勤務すること。 ③ その他医療機関で2年間勤務すること。(規模要件) ④ 公的基幹病院又はその他医療機関で2年間勤務すること。 ※1 ②と④通算して2年間以上は、県北・沿岸部の医療機関で勤務すること。(地域要件) ※2 地域要件と規模要件の同時履行はできません。 ※3 産科もしくは小児科を専攻した場合は、規模要件について、地域周産期母子医療センターでの勤務に代えることができます。
(5) プログラムの一時中断	○ 医師としてのキャリア形成(専門医資格や学位取得等)を目的とする大学等での研修は、キャリア形成プログラムの一時中断期間として取り扱い、通算して6年間で限度に認めるものとします。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児休業や休職等については、プログラムの一時中断期間として取り扱います。ただし、産前産後休暇と病気休暇はプログラム期間に含まれます。
(6) プログラムの適用解除	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者から申出があり、国への協議の結果、特別の事情があつて例外的にこれに応じることが適当と認められるとき、その他必要と認められるときは、キャリア形成プログラムの適用を途中で解除します。 ○ プログラムの適用が解除された場合は、年率9%の利息を付して奨学金を返還することとなります。

3 キャリア形成プログラムの履行例



岩手県キャリア形成プログラム (地域枠B、地域枠C及び東北大地域枠)

【凡例】※白抜きは県北・沿岸部に所在する医療機関
 ・公的基幹病院：◆◇県立病院 ★その他の病院
 ・その他医療機関：■□県立病院 ●○その他の病院
 ▲△診療所
 ・「C」：地域診療センター

勤務先 ※1	備考	勤務先の具体例
① 臨床研修 (2年)	○ 臨床研修後の勤務との連動を図るため、県内研修病院で実施	<①臨床研修病院：12 病院> ◆中央病院 ◆中部病院 ◆胆沢病院 ◆磐井病院 ★岩手医科大学附属病院 ★北上済生会病院 ★盛岡赤十字病院 ★盛岡市立病院 ◇大船渡病院 ◇宮古病院 ◇久慈病院 ◇二戸病院
↓		
② 公的基幹病院勤務 (3年)	○ 養成医師の専攻診療科を考慮して、当該診療科に関する指導医が在籍する公的基幹病院に配置。 ○ 専攻診療科の研修のほか、診療所レベル等の勤務において必要なプライマリケアの総合診療的スキルの習得研修も実施。	<②公的基幹病院：11 病院> 臨床研修病院のうち県立病院、盛岡市立病院及び北上済生会病院 ※3
↓	②④通算して2年間以上は、県北・沿岸部の医療機関で勤務すること	<③その他医療機関：52 機関> ■遠野病院 ■東和病院 ■江刺病院 ■南光病院 ■大東病院 ■千厩病院 □釜石病院 □高田病院 □大槌病院 □山田病院 □一戸病院 □軽米病院 ■療育センター ■いわてリハビリテーションセンター ▲沼宮内C ▲紫波C ▲大迫C ▲花泉C △住田C △九戸C ●八幡平市立病院 ●葛巻病院 ●西和賀さわうち病院 ●総合水沢病院 ●まごころ病院 ●藤沢病院 ○種市病院 ○済生会岩泉病院 ▲安代 ▲田山 ▲雫石 ▲中央(遠野) ▲前沢 ▲衣川 ▲金ヶ崎 ▲猿沢 ▲室根 △綾里 △越喜来 △吉浜 △広田 △二又 △田老 △新里 △川井 △田野畑 △山形 △普代 △大野 △金田一 △浄法寺 △済生会陸前高田
↓	専門研修・大学院等※2	
④ 公的基幹病院又は、 その他医療機関勤務 (2年)	○ 義務終了後の県内勤務を見据え、養成医師の希望を踏まえ配置。	

※1 ②～④の勤務の順番の入れ替えは可能です。また、各医療機関でのプログラム履修は1か月単位で認められます。

※2 自身の医師としてのキャリア形成を図るため、大学等での研修が通算6年間認められます。

※3 市町村立病院及び済生会病院での勤務は、県立病院勤務から引き続き行う場合のみ認められます。ただし、貸付期間の3分の1を超えない期間を限度とします。